

寸言

デロイト トーマツ スペース アンド セキュリティ合同会社
副社長・パートナー
松下 欣親



航空宇宙・防衛業界のビジネスモデル変革に向けて一入会のご挨拶

この度、歴史ある日本航空宇宙工業会に入会させて頂くことになり、大変光栄に存じます。入会に際し関係者の皆様に多大なお力添えを頂いたこと、改めて感謝申し上げます。

弊社、デロイト トーマツ スペース アンド セキュリティ合同会社（DTSS）は、デロイト トーマツ グループ内に2023年3月末に設立した宇宙・安全保障領域の専門法人です。日本における宇宙・安全保障領域が激動の時代を迎える中、官民双方における当該領域に深くコミットした活動を実現すべく、法人化を図りました。法人化に際しては、業界の皆様に安心してお付き合いいただけるよう、DTSSはデロイトトーマツグループの強固なセキュリティ環境に加えて、重要部分を他から隔離した業務環境の整備を行うことで、より一層のセキュリティ対策を施しました。また、所属従業員に対しては当該意図を浸透させるための研修制度を充実させ、一定の適性評価とバックグラウンド・チェックの仕組みを導入しております。なお、弊社を含むデロイト トーマツ グループは創業以来、日本法人に所属するパートナーからの出資のみによって資本形成しており、海外のデロイトメンバーファームからの出資や指揮命令等を受けることのない独立した活動を実施しております。

目下の日本の産業を取り巻く環境を俯瞰いたしますと、安全保障環境や地政学リスクの高まりから国防の担い手たる防衛省及び自衛隊のミッションが複雑化、多様化する中で、限られた人的・物的・金銭的リソースをいかに有効活用し、事態に対処していくかという

点が大きな課題になっていると考えます。特に民間企業側の視点からは、AI、無人化技術、将来通信技術をはじめ急速に進展する革新技術をどのように取り入れるかといった技術課題や、防衛費の増額を背景とした装備品増産への対応といった喫緊の課題と共に、深刻な人材難に直面している自衛隊のオペレーションを民間の力でどのように下支えしていくのか、その上で長期安定的に事業を継続するための収益基盤をどのように形成すべきか、といったビジネスモデルの転換が大きな課題になっているのではないかと考えています。

これらの課題を解決していくためには、既存の制度や業界構造の実態を踏まえ、業界全体を大きなエコシステムと捉えた上で、官民の多様なプレイヤーが協働して変革を推進していくことが不可欠であると考えます。

DTSSは、自衛官やメーカーの出身者をはじめとした多様な業界出身者と共に、会計・ファイナンス専門家、ビジネスコンサルタント、サイバーセキュリティ専門家等の多様な専門家を擁しており、海外や他業界の知見を含む多様な観点から業界アジェンダに係る現状及び将来課題を分析・理解しています。会員企業の皆様をはじめとした業界プレイヤーの皆様と密な議論を重ねながら、机上の空論に留まらない真の変革を実現できるよう、業界に伴走していきたいと考えています。

今後とも、会員企業の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。